令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立　　朽網　　小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

⑴ 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

⑵ 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

⑶ 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

⑴ 実技に関する調査

［8種目］ 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、
立ち幅とび、ソフトボール投げ

⑵ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

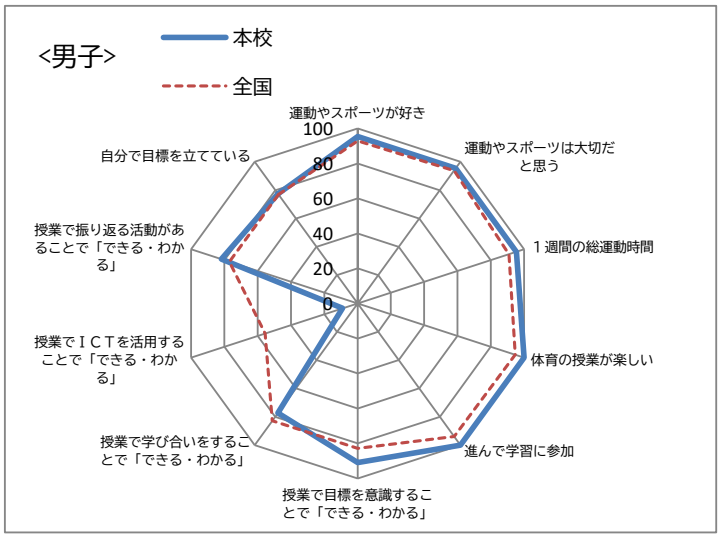
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
本市	16.30	19.17	34.49	40.75	49.29	9.48	152.47	21.39	53.38
本校全国平均以上の種目									

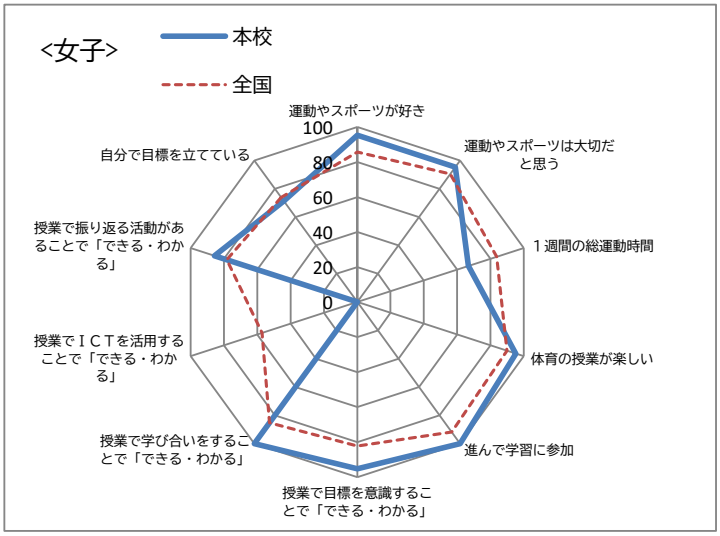
<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28
本市	16.35	18.36	38.88	38.78	39.26	9.70	145.97	13.51	55.18
本校全国平均以上の種目				○			○	○	

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート





質問紙調査の結果分析
男女ともに「運動やスポーツが好き」「運動やスポーツは大切」と考えている児童が今年度も昨年度に引き続き高く、運動やスポーツに対する関心が高いことがうかがえる。昨年度課題であった「授業で、課題を意識することで、『できたり、わかったり』することがある」については、今年度の取組で改善されてきている。体育科の授業場面でのICT活用については、引き続き検討していく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

今年度も体育科専科教員を中心に、体育科の授業において十分な運動量を確保するとともに、場の設定や個別の支援方法を工夫し、より質の高い授業づくりに取り組んできた。来年度もこの体制を継続し、さらに授業の内容を充実させていく。今年度課題となっているICTの活用については、個の課題を明確にしたり、より具体的な目標を設定したりする場面で積極的に活用し、児童の主体的な学びへとつないでいきたい。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

全校で「長縄チャレンジ大会」に取り組んだ。全校で1つの目標回数を目指し練習に取り組むことで、意欲を高めたり異学年の交流を深めたりすることができた。1月末にこの行事を設定することで、運動量が不足しがちな寒い時期も積極的に外に出て体を動かすことにつながった。今後もこれらの取組を継続していきたいと考えている。また、昨年度から始めた「朽網っ子体操」も朽網小学校の朝のよい運動習慣として定着している。家庭でも取り組むことができるように、「朽網っ子体操」動画をHPで公開し、啓発に努めている。